

# News Letter

## 薬剤情報提供書

(お薬説明書)の持参について

QA委員会

医療機関の受診時・入院時には他の医療機関で出されたお薬手帳や薬剤情報提供書(お薬説明書)をご持参くださるようお願いいたします。



当院でお渡ししている  
薬剤情報提供書です

## 「薬剤情報提供書(お薬説明書)」

は、患者さんのお薬に関する情報(薬名、用法、用量、効能、副作用、服用時または日常生活上の注意点など)をまとめたものです。これにより、患者さんのお薬に対する理解を深めると

共に、副作用などを未然に防ぐことや、最小限に抑えるのに役立ててもらおうことを目的としています。また、他の医療機関を受診する時にお持ちいただくこと、患者さんを把握するための重要な情報源となります。

服用中の薬の正確な情報を提供することは、正しい診断・安全な治療を受けることにつながります。医療機関を受診・入院される時には、他の医療機関の薬局や院外薬局で出されるお薬手帳や薬剤情報提供書(お薬説明書)を持参するようにしましょう。

当院でも、必要に応じて医師や看護師または薬剤師が内容を確認させていただき、診療に役立ててまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 後期高齢者医療制度が

スタートします

経営企画課

平成二十年四月から、後期高齢者医療制度が創設され、七十五歳以上の方は、原則として「後期高齢者医療制度」の加入者(被保険者)となります。



対象者は七十五歳以上の方、または六十五歳～七十四歳で、一定の障害の状態にある方です。現在七十五歳以上の方は、平成二十年四月一日から、それ以外の方は、七十五歳の誕生日から自動的に対象となります。

六十五歳～七十四歳で一定の障害の状態ある方についても、原則、後期高齢者医療制度の被保険者となります。

医療機関を受診された際の、患者さんの窓口負担金額については、これまでの老人保健制度

と同様一割で（ただし、一定以上の所得や収入がある方は三割）、医療費が高額になった場合の給付制度についても、これまでどおり入院、外来ともに月ごとの上限額が設けられ、患者さんの負担を軽減できるような仕組みになっていきます。

対象者には、後期高齢者医療被保険者証が一人ひとりに交付されますので、医療機関を受診される際には、窓口で必ず提示していただきますようお願いいたします。なお、この被保険者証には、自己負担割合（一割または三割）が記載されています。

この制度は、「後期高齢者医療広域連合」が運営しますが、手続きは各市町村の窓口で出来ます。制度に関する詳しい内容をお知りになりたい方は、お住まいの市町村にお問い合わせください。



### 医師異動のお知らせ

#### 《退職医師》（三月三十一日付）

- ・内科 森木有里恵医師
- ・内科 稲垣健志医師
- ・消化器科 沖裕昌医師
- ・外科 甫喜本憲弘医師
- ・小児科 采元純医師

#### 《採用医師》（四月一日付）

- ・外科 秋森豊一医師
- ・内科 西尾美紀医師
- ・小児科 倉繁款子医師

三月現在医師数五十二名から、四月一日現在五十三名となります。どうぞよろしくお願いいたします。

### からだにやさしい食生活

#### 栄養科

かつおといえは、初夏と秋の二回の旬があります。四月～五月の上りかつおは脂が少なく、さっぱりとしています。秋の戻りかつおは脂がたっぷりです。とても濃厚な味わいです。

かつおには良質のたんぱく質と、不飽和脂肪酸が豊富です。また、血合いには鉄やビタミン

ン類など、元気の源となる成分を多く含んでいます。

今回は、旬のかつおとごぼうを使った、ご飯にもあうおかずを一品紹介します。

#### 「かつおと新ごぼうの煮もの」

##### ☆材料☆（4人分）

- ・かつお…300g
- ・ごぼう…150g
- ・調味料A
- 酒…カップ1/4
- しょうゆ…大さじ2
- 砂糖…大さじ2
- みりん…大さじ1
- 塩少々

##### ☆つくり方☆

- ①かつおは小さめの一口大に切り、塩少々を入れた湯でさっと茹でて、ざるにとる。
- ②ごぼうは皮を包丁でこそげ、細長い乱切りにし、水につけてあくを抜く。
- ③鍋に水1.5カップとごぼうを入れて弱火で煮る。7～8分間たったたら、Aとかつおを加えて落とし蓋をし、汁気がほとんどなくなるまで煮る。



### LUNCH★BOX

薬剤師さんのお弁当 《第二段》です♪

姉妹で当院に勤務しており、編集スタッフは、お姉さんが二人分のお弁当を作っているらしいとの情報をキャッチし、かわいい『姉妹弁当』をぜひ掲載したくて、お姉さんに取材依頼をしました。すると、「最近一人暮らしを始めたので、今は一人分だけ作ってます」とのこと、結局お姉さんのお弁当を紹介することになりました。



撮影時、お弁当のふたを開けた瞬間に、ひき肉入りのオムレツ

ツから、食欲をそそるいい匂いが……。他に、かぼちゃの煮もの、ナスと玉ねぎの炒め物、酢もの、プチトマト。野菜中心でヘルシーな、女性大好きメニューのオンラインレードでした。

お弁当撮影日の帰り、「同じ女性として、このままではだめだ」と反省した編集スタッフ。近所のお店で野菜を買い込んで、これからはヘルシーに生きていくことを固く決意しました。…が、あれから一週間ほど経過し、自分の意志の弱さと料理のレパートリーの異常な少なさに、日々落胆するばかりです…。

## a p r o f e s s i o n

### CC委員会

今月の『専門職』は、『医療ソーシャルワーカー』です。当院医療相談室に勤務する、細川梓さんを紹介します。

### Q1. あなたの担当業務を教えてください

A1. 病院に通院・入院されている患者さん又ご家族の方々の社会的な困りごとや問題となる

ことについて、解決のお手伝いをさせて頂いています。

社会福祉を専門分野とし、ソーシャルワーカーと呼ばれます。当院では急性期治療後の転院についても調整をとっておりま



相談室スタッフのみなさん  
(中央が細川さんです)

### Q2. 現在の職業を選択した理由を教えてください

A2. もともと人と関わる仕事がしたいと考えていました。高校生の頃、具体的に進路を考えるようになって、「社会福祉」を知り、まさに自分の進みたい道だと思い進学しました。

さらに、医療ソーシャルワーカーを選択した理由としては、緊迫し、忙しい医療現場の中にこ

そ、ゆっくりとその不安に向き合える場所が必要であり、そのような姿勢で取り組めるワーカーになりたいと思ったからです。

### Q3. 業務を通じて、今までで最も心に残っている出来事を教えてください

A3. 病気を持ち、仕事のこと、家族のことなど様々なことに不安を抱えていた方との面接です。その方は、自分の思いを時には涙ながらに話し続けました。面接を行いながら、その方の苦しみや思いをどれだけ理解しようと思えるのか、ひたすらに「受容する姿勢」を持ち、傾聴を続けました。その方は最後に、「聞いてくれて良かった、ありがとう」と笑顔で帰られました。

### Q4. あなたの好きな言葉、指標としていたる言葉を教えてください

A4. 『「今」を生きる』

過去も未来も気になるところですが、それらは全て「今」その時その時の判断や感情が繋がっていくものだと思います。いつになっても、どんな時も「今」を

後悔しないように過ごすことが目標です。

### Q5. 読者の方(患者さん、一般の方、院内スタッフなど)へのメッセージをお願いします

A5. 院内に相談室が設置され、五年目に入り、少しずつ「ソーシャルワーカーってこんな人」という認識がされてきたのではないのでしょうか。

「誰に聞いていいかわからない」ことなど何かありましたら、お気軽に声をかけて下さい。お電話でも結構です。

これからもよろしく願います！

仕事の話などで相談室へ行ったとき、細川さんは、いつもさりげなく椅子を用意してくれていて、そんなちょっとした気遣いに、心が和みます。

受け入れる姿勢を持ち、相手の思いを聴くことは、簡単なようで、とても難しいことだと思います。それを職業として選択し、日々実践している細川さんは、患者さんや病院スタッフにとって、着実に心強く、大きな存在となっています。

## 病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

## 私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

## さくら

### 編集スタッフ

「さくら」は日本を代表する花で、古くから日本人に愛され続けている。春になるとあちらこちらで花見を楽しむ光景に出会うことができる。そんな桜を守り伝える仕事があるのをご存知でしょうか。京都には「桜守」佐野藤右衛門さんという方がおられます。桜守というのは、日本各地にある名桜を後世まで残す為に育てたり、枯れた名桜を復元したりする仕事で、私が、佐野さんの名前を知ったのは、京都八坂神社のそばにある円山公園の中にそれは見事な枝垂桜（しだれざくら）があり、それを代々守っている人がいるというのを聞いたのがきっかけでした。京都はご存知のとおり神社仏閣が多く、市内には御所を中心に緑が多く残っています。春になるといたるところで桜が花をつけ少し暖かくなりかけた京都の街をほんのり桜色に染めていきます。そんな京都の桜のなかに佐野さんが手塩にかけて

育てたものが多数あるそうです。その佐野さんの言葉のなかに「桜にとって花が咲くのは一年の最後」というのがありました。最後の時をあんなに美しく、人の心までも彩る。「散り際の美学」でしょうか。昔から日本人に愛され続けたのはそういうところからなのかもしれません。春は別れと出会いの季節です。そんな時に見る桜にみなさんそれぞれ思い出があるのではないのでしょうか。「桜にとって花が咲くのは一年の最後」だからこそ、人はそれを見てはかない想いをいだき魅了される。「花が散る」という響きは少しさみしい気がしますが、花が咲き、散り、実をつける。そして新芽を吹く。新しい何かを見出すために必要な時なのです。人も同じ、別れは出会いのために必要な時なのだと思います。別れの切なさを感じるからこそ、出会いの素晴らしさがわかるのではないのでしょうか。切ない別れの次に素晴らしい出会いがありますように。



## 2月の統計

外来患者数	14,346人
新外来患者数	2,287人
紹介患者数	374人
新入院患者数	489人
退院患者数	499人
平均在院日数	15日
救急車・時間外患者数	1,425人
手術件数	197件

## 幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。